

(様式－１)

平成 年 月 日

宮崎県県土整備部長 殿

(申請者) 会社名

代表者名

印

アスファルトプラント承認願ひ

アスファルト混合物を製造する機能を有したアスファルトプラント工場として下記のとおり必要図書を添えて提出しますので、御承認願ひます。

記

1 アスファルトプラント調査表

2 添付図書

(1) アスファルトプラント位置図 (S = 1 / 50,000 以上)

(2) アスファルトプラント全体平面図 (S = 1 / 以上)

(3) 全景写真 (カラーキャビネ版)

(4) 材料置場・試験室等の部分写真 (カラー手札版)

(5) その他必要な図面、資料等

(様式－1)－2

文書番号

平成 年 月 日

殿

宮崎県県土整備部長

アスファルトプラント承認書

平成 年 月 日付で提出されたアスファルトプラント承認願いに  
ついて、調査の結果、下記により承認する。

なお、条件及び指導事項については早急に改善されたい。

記

アスファルトプラント名	
所在地	

1 条件

2 指導事項

(様式－２)

平成 年 月 日

宮崎県建設技術センター所長 殿

住 所  
アスファルトプラント名  
代 表 者 名

アスファルト混合物配合設計承認願ひ

当会社において製造される下記のアスファルト混合物の配合設計は、別添  
(様式－５) のとおりでありますので御承認願ひます。

記

1 アスファルト混合物名

(様式-3)

アスファルト混合物配合報告書										
					平成	年	月	日		
殿					アスファルトプラント名					
					配合設計者名					印
工事名称										
位置										
搬入予定時期										
本配合の適用時期										
配合の設計条件										
標準、耐流動、その他の区分	アスファルト混合物の種類	突固め回数	アスファルト量	最大粒径	アスファルトの種類					
特筆事項								再生骨材配合率		
使用材料 (配合設計に用いた値)										
種別	製造会社名	軟化点	針入度	比重						
新アスファルト										
再生アスファルト				再生加熱アスファルト混合物の圧裂係数: MPa/mm						
アスファルト	供給元	最大密度	旧アスファルト含有量	旧アスファルト針入度	骨材の微粒分量					
再生骨材										
再生用添加剤	製造会社名	動粘度	引火点	密度						
粗骨材	呼び名	産地	表乾比重	見掛比重	吸水量	すりへり減量	安定性	石質		
	号									
細骨材	呼び名	産地	表乾比重	見掛比重	吸水量	安定性	その他			
フィラー	産地		比重			その他				
配合表										
アスファルト量	密度	骨材合成粒度 (通過重量百分率)								
		26.5m/m	19	13.2	4.75	2.36	0.6	0.3	0.15	75μm
%	g/cm <sup>3</sup>									
新AS	%	理論密度	空隙率	飽和度	安定度	フロー値	動的安定度	透水係数		
旧AS	%									
アスファルト混合物出荷温度計定期点検結果										
点検日			有効期限			判定				
平成	年	月	日	平成	年	月	日			
[注 1] 再生加熱アスファルト混合物の配合設計について、設計針入度への調整を行う方法では軟化点、針入度、比重を記入、設計圧裂係数への調整を行う方法では再生加熱アスファルト混合物の圧裂係数を記入する。										
[注 2] 再生骨材配合率を 10%以下とする場合は設計針入度の調整及び設計圧裂係数の調整を省略してもよい。										
[注 3] アスファルト混合物出荷温度計定期点検結果の記入は任意とする。有効期限はアスファルト混合物の搬入予定時期を満足するものとする。判定は合格又は不合格のいずれかを記入する。										

(様式－４)

平成 年 月 日

土木事務所長 殿

受注者住所

氏 名

印

### アスファルト混合物使用報告書

次の工事について下記のとおり使用するので報告します。

工事番号

工 事 名

路 線 名

箇 所

請負金額

#### 記

- 1 使用するアスファルトプラント名
- 2 アスファルト混合物の種類

アスファルト混合物 の種類	アスファルトの種類	アスファルト量	最大粒径	使用数量

#### 3 添付図書

- (1) アスファルト混合物配合設計承認の写し
- (2) アスファルト混合物配合報告書（様式－３）
- (3) アスファルト混合物配合設計書（様式－５）（各種試験成績表を添付）

(様式－5)

アスファルト混合物配合設計書

混合物種類

報告年月日

平成

年

月

日

会社名

添付図書

各種試験成績表を添付

(別紙－１)

アスファルトプラント調査表

工事所在地

会社名 \_\_\_\_\_

工事名 \_\_\_\_\_

設置箇所 \_\_\_\_\_

工事責任者名 \_\_\_\_\_

人員構成 \_\_\_\_\_ (別紙に役職、氏名を入れ系統図を作成のこと)

アスファルトプラント

敷地面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

能力 \_\_\_\_\_ /バッチ kg /時間 t /H

設置年月日 \_\_\_\_\_

常設仮設の別 \_\_\_\_\_

アスファルトプラント製造会社名 \_\_\_\_\_

アスファルトプラントの製造年月日 \_\_\_\_\_

形式 \_\_\_\_\_

種類 \_\_\_\_\_ 全自動 半自動 手動

- 1 次のアスファルトプラント運転に関して公に認定されている常駐の技術者の氏名を記せ（免許の写し要）

公害防止管理者（種類も要） \_\_\_\_\_

危険物取扱責任者 \_\_\_\_\_

電気主任技術者 \_\_\_\_\_

（業務を委託している場合は会社名）

乾燥設備作業主任 \_\_\_\_\_

特殊運転免許者 \_\_\_\_\_

- 2 材料の品質、規格と貯蔵

各材料の成分、品質の試験表を提出すること。

- (1) アスファルト

貯蔵方法 \_\_\_\_\_

加熱保温方法 \_\_\_\_\_

- (2) 骨材

貯蔵方法 \_\_\_\_\_

雨覆の方法 \_\_\_\_\_

貯蔵量 \_\_\_\_\_ t \_\_\_\_\_ 基

- (3) 石粉

貯蔵方法 \_\_\_\_\_

貯蔵量 \_\_\_\_\_ t \_\_\_\_\_ 基



(4) 燃料タンク

使用燃料の種類 \_\_\_\_\_

貯蔵方法 \_\_\_\_\_

貯蔵量 \_\_\_\_\_ t \_\_\_\_\_ 基

油漏対策 \_\_\_\_\_

(5) 使用材料の産地及び会社名を記せ

3 アスファルトプラントの機構及び設備

(1) 骨材供給引出設備（コールドフィーダ）

コールドビン数 \_\_\_\_\_ 基

コールドビンへの骨材供給方法 \_\_\_\_\_ 種類 \_\_\_\_\_ 台数

フィーダ型式、能力、制御方法 \_\_\_\_\_

コールドフィーダの流出量の点検を行った成績表及びキャリブレーションを行った関係図を提出のこと。

(2) 骨材乾燥設備

コールドエレベーター型式、能力（t/hr） \_\_\_\_\_

バーナー型式、能力（t/hr） \_\_\_\_\_

自動調整の有無 \_\_\_\_\_

(3) 集じん設備（ダストコレクター）と回収ダスト処理設備

集じん装置名 \_\_\_\_\_ 一次 \_\_\_\_\_ 二次

回収ダストの処理方法 \_\_\_\_\_

回収ダストを合材に使用する場合の計量方法 \_\_\_\_\_

汚水処理方法 \_\_\_\_\_

沈殿地の容積 \_\_\_\_\_

(4) ふるい分け設備（ホットスクリーン）

フィル型式、能力（t/hr） \_\_\_\_\_

オーバーサイズのフローパイプの有無 \_\_\_\_\_

(5) ホットビンおよび計量設備

ホットビン

No.	粒 度	容 積	ビン内残量検知有無	オーバーフローパイプ

加熱骨材採取設置の有無 \_\_\_\_\_

計量器の型式 \_\_\_\_\_

計量器の精度 \_\_\_\_\_

材 料	最 大 目 盛	最 小 目 盛	計 量 方 法	落差補正の有無
骨 材				
石 粒				
アスファルト				

計量記録計の有無 \_\_\_\_\_

計量器の定期点検の検定書を提出のこと

(6) 混合設備

ミキサー製造会社 \_\_\_\_\_ 型式 \_\_\_\_\_ 能力 \_\_\_\_\_

ライナと羽根先端の間隔

アスファルトスプレーパ

保温装置 有・無 アスファルト噴霧圧力                      kg/cm<sup>2</sup>

(7) 入荷・出荷方法

トラックスケールの定期点検の検定書を提出のこと。

4 運 搬

最大運搬範囲    km                          時間

運搬車（自家用）    t 車                          台

（チャーター）    t 車                          台

5 混合物の品質管理と検査

(1) 試験室の器具の配置図を提出のこと（S = 1 : 500以上）

(2) 試験器具名、試験項目、頻度は別紙記入のとおり

(3) 試験室（品質管理）に従事する人数                                  人

責任者 氏名                                  経験年数                         

(4) アスファルトプラントの品質保証又は品質管理として、次の①～⑥の事項を定期的に毎回施行しているか。

① アスファルトプラント（設備・性能）仕様調査書                  回／年

② アスファルトプラント機能検査成績表                          回／年

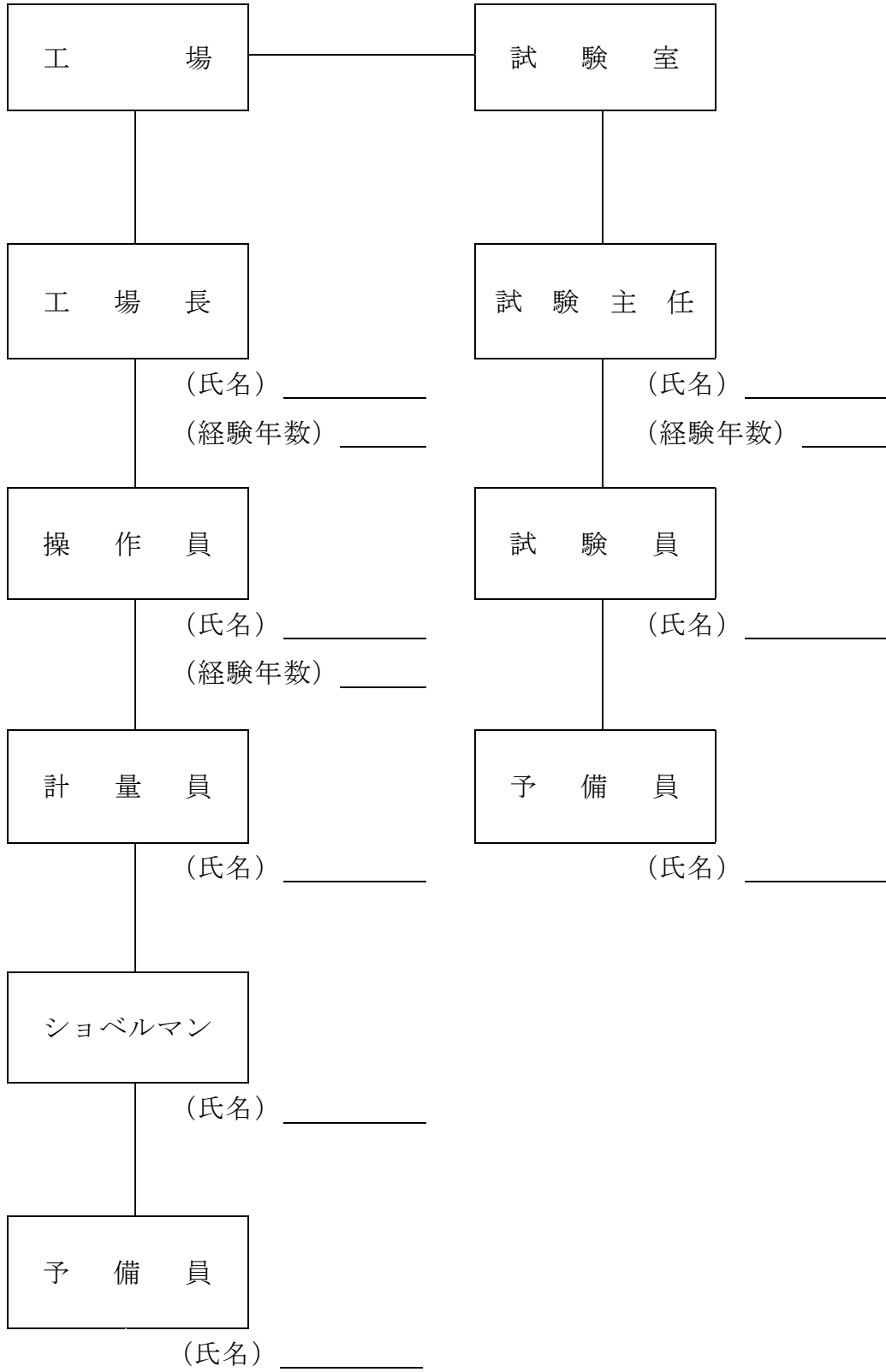
③ 全種出荷混合物の配合設計書                          回／年

④ 全種出荷混合物の試験練り結果報告書                          回／年

⑤ 出荷混合物の基準密度測定結果                          回／年

⑥ 品質保証解析結果                          回／年

6 次の職種の氏名および経験年数を記入せよ。



(別 紙)

試験器具名、試験項目、頻度調べ

試 験 器 具 名	数 量	試 験 項 目	頻 度